

議員提出第4号議案

TPP交渉参加に反対する意見書について

上記の意見書を国に提出する。

平成24年6月26日提出

安城市議会議員	宮	川	金	彦
〃	武	田	文	男
〃	石	川		忍
〃	畔	柳	秀	久
〃	今	原	康	徳

—提案理由—

この案を提出したのは、国民の命や暮らし、農業や食料、地域経済の崩壊につながりかねないTPPへの交渉参加を行わないことを国へ要望するため。

TPP交渉参加に反対する意見書

政府は、平成23年11月、TPP（環太平洋連携協定）交渉について、多くの国民が不安や懸念を抱く中、事実上の交渉参加表明ととらざるを得ない「関係国との協議開始」を表明した。

TPPは、農業だけでなく、医療や保険、食品の安全性など国民生活と密接に関係する多くの分野に影響を与え、農林水産業をはじめとする地域経済や国民の暮らしを一変させてしまう重大な問題である。

関税撤廃の例外を認めない完全自由貿易を目指すTPPを締結すれば、我が国の農業、農村に対する影響は大きく、輸入農畜産物が溢れ、国産農畜産物は消費量が減少、需給バランスの崩れから価格も下落し、日本農業が崩壊することは必至である。食料自給率は大幅に低下し、戸別所得補償制度の下においても農業経営は立ち行かず、そればかりか関連産業も衰退し多くの雇用が失われ、農村の疲弊、荒廃化につながるものである。

さらに、「非関税障壁」撤廃の名の下に、食の安全や医療、金融や保険、知的財産、労働などあらゆる分野での無秩序な「規制緩和」が行われ、国民生活に深刻な影響を及ぼすと考えられる。

よって、国民の命や暮らし、農業や食料、地域経済の崩壊につながりかねないTPPへの交渉参加は行わないことを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月26日

愛知県安城市議会